



ギター ▶ 角圭司



ピアノ ▶ 村上和歌子

角圭司 × 村上和歌子

ギター&ピアノ デュオコンサート

多古町コミュニティプラザ文化ホール

2023.10/14 (土) 14:00 開場 / 14:30 開演

一般 3,500 円 / 高校生以下 1,500 円 [全席自由] <チケット発売> 2023 年 8 月 19 日 (土)

演目 ▶ フランシスコ・タレガ "Lagrima" 「涙」 / "Rosita" 「薔薇」 / 「アルハンブラの思い出」
ホアキン・ロドリゴ 「ある貴神のための幻想曲」 / 「アランフェス協奏曲」他

- ▶ 未就学児同伴での入場はご遠慮いただきますようお願いいたします。
- ▶ 多古町コミュニティプラザ文化ホール 千葉県香取郡多古町多古 2855 Tel: 0479-76-7811
- ▶ 成田空港第2ターミナル バスのりば 13 番 多古シャトルバス 多古町役場下車 徒歩 10 分

チケット
お取り扱い

[多古町] 多古町コミュニティプラザ [香取市] 仁木書店駅前店 / 行木堂 [成田市] 成田国際文化会館

主催：多古インターナショナル・ミュージックプロモーション <通称多古ミュージックサロン>

後援：多古町教育委員会

多古ミュージックサロン

<http://http://tako-music-salon.org>

Designed by : Kei Sato Design Studio

KEI SATO
Architectural & Product
Design Studio

～哀愁を醸し出すクラシックギターの響きに寄り添う美しいピアノの音色～

コロナ禍を超えて精力的に活動を続けるギター奏者の角圭司さんと、北海道在住のピアノ奏者の村上和歌子さん共演によるデュオコンサートです。秋の風景に溶け込むような、哀愁を帯びたスペインの名曲の数々をお届けします。ギターとピアノの美しい音色に酔いしれる、静かな音楽の午後をお楽しみください。

ギター演奏 ▶ 角 圭司 KEISHI SUMI



1999年、ジョンズ・ホプキンス大学ピーボディ音楽院入学。翌年、特別進級により同音楽院修士課程に入学。2002年リサイタルを行い修士課程演奏家ディプロマを取得し首席卒業。

マヌエル・バルエコ、レイ・チェスター、尾尻雅弘、増田幸作の各氏に師事。1991年全日本ギターコンクール独奏部門首席、1992年第4回国際ギターフェスティバル仙台コンクール独奏の部2位、1997年第15回スペイン音楽ギターコンクール優勝。在米中、ニューヨーク、ワシントンDC、ボルチモア、シカゴ、マイアミ、デンバー、他全米でコンサート活動を行う。2001年9月に米国の同時多発テロ後、ワシントンDCの国務省にて演奏。また、2002年1月ワシントンDCのケネディ・センターでミレニアム・コンサート、4月にはニューヨークにて世界貿易センタービルのためのチャリティーコンサートを行いTVニュース番組で全米に紹介された。2002年、コスタリカ国際ギターフェスティバル、ワシントンDCで、アウローラ・ギターカルテットでアンダールシア協奏曲(ロドリゴ)をオーケストラと共に演奏。また日本各地にて演奏。さらに11月に行われたニューヨークのカーネギーホールで演奏し成功を取めた。2003年、再びコスタリカ国際音楽祭に招待され、ラジオ、テレビに出演。またコスタリカ国立交響楽団と共に演奏した。2005年、ワシントンDC在米日本大使館でリサイタルを開催。日本帰国後、2度の台湾ツアーで、台北と高雄で演奏。台南芸術大学(台南市)でマスタークラスも行う。2008年NHK交響楽団団友オーケストラと共に演奏。東京ギターカルテットとして2009年3月東京文化会館にてリサイタルを行った。5月には作曲家・佐藤弘和の作品展でカザルスホールでも演奏。2010年、スペインツアーで7都市で演奏。翌2011年には再びスペインに招かれリサイタルと国際ギターコンクールの審査員を務めた。ギタリスト作曲家レイ・ゲラとも親交があり、ギター2重奏曲、組曲「道」を捧げられる。組曲「道」の世界初演は、2007年5月に東京、茨城で行われた。そのほかに、2010年、NHK連続テレビ小説「てっぺん」で音楽を担当したバンドネオン奏者・作曲家の啼鵬氏、山下亮江氏とタンゴトリオ「A.R.C.」を結成し演奏活動を行っている。録音も多数発表しており、妹・昌子とのギターデュオで「ファースト・インプレッション」「アラウンド・ザ・コーナー」(現代ギター社)。ギターソロでは「ミ・コラソン」「グラシア」(レコード芸術特選盤)、「マエストロ」(レコード芸術特選盤 2015年8月号)、「南十字星の雫」(レコード芸術特選盤 2018年6月号)、「そよ風の中、自転車に乗って」(レコード芸術特選盤 2019年4月号)を発表。

また、カイロプラクターとしても稼働しており、音楽とカイロプラクティックの知識・技術を融合させた「音楽カイロプラクティック」を提唱。各地にて演奏姿勢講座なども行っている。2020年4月著書「楽器演奏者のためのカイロプラクティック入門」(クラブハウス)を発表。

日本スペインギター協会理事、日本ジュニアギター協会会員。

ピアノ演奏 ▶ 村上 和歌子 WAKAKO MURAKAMI



幼少の頃よりヤマハにて学び、札幌コンセルヴァトワールにて宮澤功行氏に師事。藤女子大学在学中、札幌市芸術祭新人音楽会に出演。同大学文学部英文学科を首席卒業後、渡英。英国王立音楽大学大学院ディプロマコースにてアンドリュー・ボール氏に師事。同大学院をディステインクションにて修了。第22回スメタナ国際ピアノコンクール第3位、併せてスメタナ最優秀演奏者賞受賞。第1回全日本彩明ムジカコンクールソピアノ部門第2位。2001年より郵政事業庁高度医療研究・音楽療法研究補助員として札幌山の上病院等でコンサートを開催。これまでに毎日こどもピアノコンクール、ピティナピアノコンペティション、グレンツェンピアノコンクールの審査員を務める。第30-33回ピティナピアノコンペティション指導者賞受賞。第9回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 特別優秀指導者賞受賞。2016,2018,2023年台湾にて演奏。後進の指導と共に演奏の場を広げている。

現在、札幌コンセルヴァトワールピアノ科准教授。エルム楽器特別クラス講師。全日本ピアノ指導者協会正会員。北海道音楽振興会、札幌音楽家協議会、各会員。

演目 ▶ フランシスコ・タレガ "Lagrima" 「涙」/"Rosita" 「薔薇」/
「アルハンブラの思い出」
ホアキン・ロドリゴ 「ある貴神のための幻想曲」/
「アランフェス協奏曲」 他

角 圭司 × 村上 和歌子
ギター&ピアノ デュオコンサート

多古町コミュニティプラザ文化ホール

2023年10月14日 [土] 14:00 開場 / 14:30 開演

主催：多古インターナショナル・ミュージックプロモーション <通称多古ミュージックサロン> 後援：多古町教育委員会